

テレワーク・デイズ実施風景

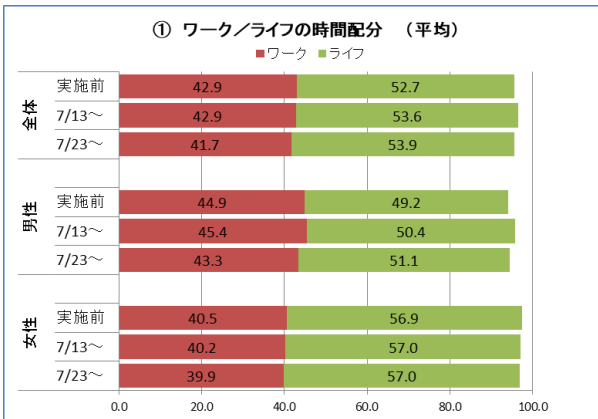


↑ 初めてテレワークを実施する社員も多かったため、システムやルールの説明会を開催

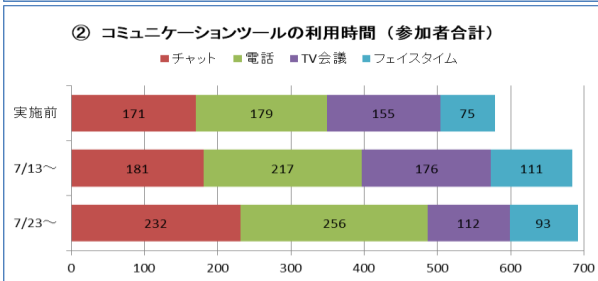
↑ 個人および部門単位で、テレワークを利用した働き方に挑戦中（10/26まで）

本社所在地	本社：大阪市東成区 品川オフィス：東京都港区港南
従業員人数	（単体）約2000人
実施人数	255人 ※うち、テレワークデイズ期間中の実施者は172人
実施エリア	東京、大阪
実施形態	<input type="checkbox"/> 在宅勤務 <input type="checkbox"/> モバイルワーク勤務
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ テーマ：『ワクワク、スマートワーク』 ■ 期間：7/23～10/26の3ヶ月間 ■ 内容：社員が働くことにワクワクしながら、多様な働き方を継続的に考えていく。仕事内容に合わせて自律的に時間と場所を選択する働き方や、上司と部下の相互信頼性の高いコミュニケーションを実現を目指す。 ■ 参加者：個人（希望者100名）および、選定部門（9部門155名）。部門は、開発・生産・マーケティング・営業から幅広く選定。 ■ その他：参加者の行動記録をもとに、継続的な効果測定と検証を行い、組織としてスマートワークを実現するための課題抽出に繋げる。

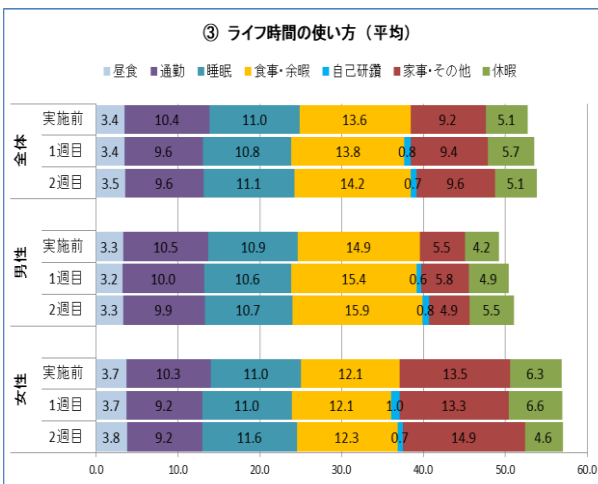
実施結果



①ワーク時間の短縮
スマートワークの実施により、週あたりのワーク時間は1.2時間減少し、ライフ時間は1.1時間増加。



②コミュニケーション手段の多様化
仕事場所の柔軟化に伴い、チャットやフェイスタイムなどの活用が進んだ。



③ライフ時間の充実
男女とも通勤時間が減少。男性は、余暇・リフレッシュの時間が取れるようになった。女性は、子供の行事や家事に時間を有効利用できるようになった。

（男性コメント）
・自宅個人業務を集中して実施し、終了後ジムで運動できた。
・移動時間の大幅削減でプライベートが充実した。

（女性コメント）
・在宅勤務によって、今まで年休を取っていた子供の学校面談に、仕事途中で対応できた。
・通勤時間が無い分、たまった家事ができた。